

## ○枚方市立図書館条例

昭和 48 年 3 月 17 日 条例第 10 号

## (設置)

第 1 条 本市に、図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）の規定に基づく図書館（以下「図書館」という。）を設置する。

(昭 58 条例 10・全改)

## (名称及び位置)

第 2 条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
枚方市立中央図書館	枚方市車塚 2 丁目 1 番 1 号
枚方市立香里ヶ丘図書館	枚方市香里ヶ丘 4 丁目 2 番地の 1
枚方市立楠葉図書館	枚方市楠葉並木 2 丁目 29 番 5 号
枚方市立菅原図書館	枚方市長尾元町 1 丁目 35 番 1 号
枚方市立蹉跎図書館	枚方市北中振 3 丁目 27 番 10 号
枚方市立御殿山図書館	枚方市御殿山町 10 番 16 号
枚方市立牧野図書館	枚方市宇山町 4 番 5 号
枚方市立津田図書館	枚方市津田北町 2 丁目 25 番 3 号

(昭 54 条例 11・全改、昭 56 条例 26・昭 58 条例 10・昭 59 条例 43・昭 60 条例 30・昭 61 条例 15・昭 62 条例 14・平元条例 10・平 7 条例 19・平 16 条例 45・平 16 条例 50・平 16 条例 11・一部改正)

## (分室等)

第 3 条 図書館に、分室及び自動車文庫を置くことができる。

(昭 58 条例 10・全改)

## (目的外使用許可を受けて使用する場合は使用料)

第 4 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 238 条の 4 第 7 項の規定による枚方市教育委員会の許可を受けて枚方市立香里ヶ丘図書館の多目的室（次項において「多目的室」という。）を使用する場合の使用料（以下「使用料」という。）の額は、別表に定めるとおりとする。

- 使用料は、前項の許可を受けた際に納付しなければならない。ただし、市規則で定めるときは、多目的室の使用の開始までに納付することができる。
- 既納の使用料は、還付しない。ただし、市長は、市規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。
- 市長は、市規則で定める特別の理由があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(令元条例 15・追加)

(損害賠償)

第5条 図書館の施設若しくは設備又は図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（次条において「図書館施設等」という。）を損傷し、又は滅失した者は、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、枚方市教育委員会がやむを得ない事由があると認めたときは、この限りでない。

(平27条例33・全改、令元条例15・旧第4条繰下)

(指定管理者による管理等)

第6条 図書館（枚方市立中央図書館を除く。）の管理は、法人その他の団体であつて、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき枚方市教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者は、次に掲げる業務（前項各号に掲げる図書館に係るものに限る。）を行うものとする。

(1) 図書館法第3条各号に掲げる事項（同条第1号に掲げる事項のうち収集に関するもの及び同条第5号に掲げる事項を除く。）その他第1条に規定する目的を達成するため枚方市教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務

(2) 図書館施設等の維持管理に関する業務

3 第1項の規定による管理の基準は、教育委員会規則で定める。

(平27条例33・追加、平29条例33・一部改正、令元条例15・旧第5条繰下・一部改正)

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（使用料に関する事項については、市規則）で定める。

(昭54条例11・一部改正、平27条例33・旧第5条繰下・一部改正、令元条例15・旧第6条繰下・一部改正)

附 則

1 この条例は、昭和48年4月1日から施行する。

2 枚方市民会館条例（昭和40年枚方市条例第1号）の一部を次のように改正する。

[次のよう略]

附 則 [昭和54年3月20日条例第11号]

この条例は、教育委員会規則で別に定める日から施行する。

[昭和54年教委規則第7号で、同54年5月1日から施行]

附 則 [昭和56年9月22日条例第26号]

この条例は、教育委員会規則で別に定める日から施行する。

[昭和57年教委規則第8号で、同57年5月7日から施行]

附 則 [昭和58年3月17日条例第10号]

この条例は、公布の日から起算して6月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

[昭和58年教委規則第14号で、同58年7月1日から施行]

附 則〔昭和59年10月 5 日条例第43号〕

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

〔昭和60年教委規則第 5 号で、同60年 5 月 1 日から施行〕

附 則〔昭和60年 6 月26日条例第30号〕

この条例は、教育委員会規則で別に定める日から施行する。

〔昭和61年教委規則第11号で、同61年 4 月 1 日から施行〕

附 則〔昭和61年 6 月18日条例第15号〕

この条例は、教育委員会規則で別に定める日から施行する。

〔昭和62年教委規則第 6 号で、同62年 4 月 1 日から施行〕

附 則〔昭和62年 6 月15日条例第14号〕

この条例は、教育委員会規則で別に定める日から施行する。

〔昭和63年教委規則第10号で、同63年 4 月 1 日から施行〕

附 則〔平成元年 6 月22日条例第10号〕

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

〔平成 2 年教委規則第 3 号で、同 2 年 4 月 1 日から施行〕

附 則〔平成 7 年 9 月21日条例第19号〕

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

〔平成 8 年教委規則第 4 号で、同 8 年12月 1 日から施行〕

附 則〔平成16年 3 月15日条例第11号〕

この条例は、公布の日から起算して 1 年 6 月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

〔平成17年教委規則第 1 号で、同17年 4 月 1 日から施行〕

附 則〔平成16年12月17日条例第45号〕

この条例は、平成17年 4 月 1 日から施行する。

附 則〔平成16年12月29日条例第50号〕

この条例は、平成17年 1 月 1 日から施行する。

附 則〔平成27年 6 月29日条例第33号〕

この条例は、平成28年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則〔平成29年 6 月30日条例第33号〕

この条例は、平成30年 4 月 1 日から施行する。

附 則〔令和元年 6 月28日条例第15号〕

この条例は、令和 2 年 8 月 1 日までの間において教育委員会規則で定める日から施行する。

〔令和 2 年教委規則第 3 号で、同 2 年 4 月 1 日から施行〕

別表（第 4 条関係）

(令元条例15・追加)

1 日曜日及び休日以外の使用

施設名	金額			
	午前	午後A	午後B	夜間
多目的室 1	600円	600円	600円	600円
多目的室 2	1,200円 (600円)	1,200円 (600円)	1,200円 (600円)	1,200円 (600円)

備考

- この表において「休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。
- 午前は3時間、午後A、午後B及び夜間は2時間45分当たりの額とする。
- （ ）内の額は、施設を分割して使用した場合の額とする。
- 市内に、在住し、在職し、若しくは在学する者又は所在する団体（主に市民以外の者で構成する団体を除く。）以外のものが使用する場合における使用料は、この表に定める額の10割増しの額とする。

2 日曜日及び休日の使用

施設名	金額		
	午前	午後A	午後B
多目的室 1	500円	500円	500円
多目的室 2	1,000円 (500円)	1,000円 (500円)	1,000円 (500円)

備考

- 午前、午後A及び午後Bは、2時間30分当たりの額とする。
- 1の表備考1、備考3及び備考4の規定は、この表について適用する。